

デジタル田園都市国家構想交付金事業 効果検証委員 主な意見の要旨

1 効果検証委員の選出元【分類】

- (1) 北九州商工会議所【経済界】
- (2) 公益財団法人北九州産業学術推進機構【産業界】
- (3) 北九州市立大学【学术界】
- (4) Z世代パートナーズ【若者】

※上記から各1名を選出

2 効果検証の実施時期

令和6年12月

3 主な意見の要旨

下表のとおり

1. 事業名：北九州観光・インバウンド振興推進事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他県や他都市と連携した観光ルートを構築することが重要である。 ・ 市域が東西に広く、観光資源も分散しているので、それらをどう結んでいくのか、移動手段も含めて検討していくことが必要である。 ・ 北九州市の観光においては日帰り観光が主で、宿泊観光が少ないのが長年の課題となっている。宿泊に繋げる意味でも夜市やライトアップイベント等、引き続きナイトマーケット振興に取り組んでもらいたい。 ・ 市のコンテンツが、外国人の価値観に響いているかは検証が必要である。 ・ SNSを活用した発信にあたっては、外国人観光客もターゲットとすることを意識されたい。
2. 事業名：北九州空港利用促進による地域活性化	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光需要の取り込みにあたっては、観光資源とどう結びつけるのか、ルートとセットで考えていく必要がある。 ・ 旅客の新規路線に関しては、観光需要が見込めるエリアを戦略的に開拓されたい。例えば、東南アジアなどをターゲットにしてはどうか。 ・ 貨物に関しては、需要が間違いなく伸びていくと思う。海外物流企業へのPRを強化してもらいたい。 ・ 滑走路3,000m化は、活用が伸びる大きな契機になると考える。
3. 事業名：北九州スタートアップエコシステム推進事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大企業とのオープンイノベーション促進については、地元大企業との協業機会を創出することが重要。 ・ アクセラレーションプログラムの充実を図る意味で、資金支援を含めた強化策を検討してもらいたい。 ・ スタートアップの振興において、学研都市がどのようにうまく関わっていくかは引き続き検討が必要と感じる。 ・ スタートアップに関するKPI設定が、雇用対策関係の指標に偏っている印象を受ける。スタートアップの本質からすると、効果的な指標設定かはやや疑問を感じる。

4. 事業名：環境と経済の好循環を生み出す「北九州グリーン成長」実現事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> 「グリーン成長」については、やはり市内企業の参入障壁がある。どうすれば市内企業の参入につなげられるかを検討していくことが必要である。 人材育成事業については、人材育成の先、雇用にどう結び付けるかが重要である。 脱炭素分野などの専門スキル教育を拡大していくと良い。その入口として、地元高校や大学と連携し、知る機会を提供することで、業界への就業につながっていくのではないかと。
5. 事業名：新卒者市内就職応援プロジェクト ～キャリア形成段階に応じた就職支援	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> 企業の採用力強化、情報発信、マッチング事業など引き続き市と産業界とで連携して実施していきたい。 就活生へのアプローチは工夫が必要。ネットを中心に情報収集をする学生が多いが、地元企業の情報は自ら取りに行かないと取得できない。 SNSやネット広告等を活用した情報発信も、一見して興味を惹くものでなければ中身は見られないと思う。 毎日のように通う大学構内でCMを流すほか、目に入る場所でポスター等を掲示するなど、アナログな手法も組み合わせてみるのも良いのではないかと。 若者に魅力ある企業の創出は、引き続き注力していなければならぬ。
6. 事業名：事業名ポストコロナの北九州市版「生涯活躍のまち」事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> 転出者に関しては、転出後も北九州と関係を持つ仕組みを構築することが重要。つながりを保持することが、後年のU・Iターン等にもつながる。 移住後もサポート体制があることは、移住希望者へのPR材料になると思う。就業支援に加えて、移住者のコミュニティ形成支援も重要だと思う。 引き続き首都圏などに向けて北九州への興味を持ってもらうようなPRをしていくことが重要である。
7. 事業名：企業の持続的発展・誘致による北九州地域経済活性化プロジェクト	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ITや環境産業など、重点的に誘致したい分野への戦略的なアプローチが必要と感じる。 誘致してきた企業についても、立地後の定着につながる支援が必要である。
8. 事業名：感染症などに備え、安心して暮らせる地域共生社会促進事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> 介護ロボットの開発は難易度が高いところがある一方で、市内の介護事業所で導入が進んでいるのは非常に良いことだと思う。 これから高齢化していく中で、将来に欠かせない事業なので、引き続き推進してもらいたい。
9. 事業名：人の流れや投資を呼び込む「新たな都市ブランディング」推進事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> 都市ブランドの確立が大変難しいことであることは承知のうえだが、やはり北九州がどんなまちかを一言で表現できるようなブランディングができないか。 都心部でのイベントに訪れている若い人が増えていると感じる。こうしたイベントを拡充していくとさらに賑わいが生まれるのではないかと。 公共交通利用のキャンペーンなども強めて都心部へのアクセスを改善していくことも必要だと思う。

10. 事業名：地方創生SDG s 達成に向けた企業へのSDG s 実践推進事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> • K P I も順調であり、今までのSDG s 事業が効果を上げているという結果だと思う。唯一、K P I を達成していない経営サポートについても、現場のニーズがさらに上のレベルを求めている結果ということなので、ニーズに合った形で今後も推進してもらいたい。 • SDG s に関する先進的な取組は積極的に他企業へ紹介し、横展開を図ると良い。 • SDG s 関連融資プログラムを展開すると良いのではないかな。 • SDG s は北九州の強みなので、是非PRを積極的にしてもらいたい。
11. 事業名：持続可能な商店街活性化事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> • K P I は全体的に順調だが、さらに新規出店件数を伸ばしていきたいところ。引き続き新規出店件数増加に向け事業を実施してもらいたい。 • 各地域の商店街で課題も様々である。 • 地元の商店街の皆さんとの意思疎通が重要。どういう方向性で商店街を盛り上げるのか、行政と地元で議論を行い、目指す将来像が両者の間で見える化できると良い。 • 地元農業と商店街をつなぐイベントができると良い。
12. 事業名：多様な人材の活躍による持続可能な社会構築推進事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> • 障害者向け就業サポート強化について企業と障害者をつなぐマッチングイベントを拡充してはどうか。 • K P I 変更について、異議はない。国や事業等の状況に応じてK P I の再設定など柔軟な対応を行っていくことは重要と考える。 • 重層的支援については難しい部分もあると考えるが、予算も含めた制度の面で、地域の福祉に関わる皆さんが前向きに関われる仕組みができると良い。 • マッチングに関して、障害者と企業の相互理解を高めていくことが非常に重要。
13. 事業名：北九州学術研究都市を中心とした成長産業活性化事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> • 学研都市については素晴らしいリソースが集まっている。 • 現実の企業支援においては、シーズよりもっと手前を支援している状況で、事業化に至るまでには、ハードルがある。 • 学研都市がどのような役割を担っていくべきかは、改めて検討していく必要がある。 • 半導体については期待が高まっているところ、新作業の誘致を引き続きがんばっていただきたい。
14. 事業名：ロボット・DX 推進センターを拠点とした、企業変革促進伴走支援事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> • ロボット・DX推進センターの設置が市内中小企業の機運醸成に寄与しており、これを契機に学研都市と企業の新たなつながりができている。 • もっとも、市内には「DXとは？」という企業もまだあるので、こうした企業向けの施策は継続していくことが必要である。 • 中小企業に特化したDXの導入成功事例の紹介をしていけると、企業にとっては、非常に参考になると思う。 • DX導入企業数を増やすため、DX導入費用支援の補助金を拡充していくことも方法ではないかな。

15. 事業名：「人への投資」をはじめとした企業の投資加速化支援事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> • リスキリング教育については、オンラインをはじめ、より多くの受講者に対応可能な仕組みを導入できると良い。 • 中小企業にA I 等を使える人材がないのは大きな課題である。そのため、中小企業の方が学べる環境を整えることは非常に重要な事業である。 • 企業向け教育プログラムを拡充するなど企業内研修をサポートしてもらえると企業としては助かるという声を聞いている。
16. 事業名：アフターコロナを見据えたクールジャパンによるまちづくり推進事業	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> • クールジャパンをきっかけに若者が北九州市に興味を持つのではないかな。 • アジアを市場にプロモーション強化するとますます人を呼び込めるのではないかな。非常に良いコンテンツがそろっていると思うので引き続き実施してもらいたい。 • 国際映画祭に実際に行ってみたが、思ったよりも若い人が少ない印象を受けたので、若い人向けのコンテンツやP Rがより充実すると良い。 • K P I の達成状況は順調であるが、一過性のものとならぬよう、継続的に取り組んでいってもらいたい。
17. その他の意見（全体に関する意見等）	
主な意見 の要旨	<ul style="list-style-type: none"> • 個々の事業が別個独立に進捗するのではなく、関連する事業が連携し合いながら進めてもらいたい。 • 設定された指標がK P I とK G I が混在している印象を受ける。また、効果検証時のためにも、目標値の設定根拠を明確にしておき、事業進捗や外部要因の変化に応じ、柔軟に改めていくことが必要。 • 自治体間のランキングをK P I に設定しているケースが見られるが、ランキングはどうしても相対的なものなので、取扱には注意が必要である（他の指標等も含めランキング上下動の要因を分析しなければならない）。